



VOL. 22 No.3 The University of the Ryukyus Library Bulletin. 1989. 9. 25

ビデオ資料の貸出について

1 貸出の趣旨

附属図書館本館では、このたびビデオ資料の貸出を開始しました。

図書館資料には、図書や雑誌のような印刷資料だけでなく、視聴覚資料・マイクロ資料、さらには機械可読資料といった、様々な形態のものが含まれます。

このうち視聴覚資料は、映画フィルム、ビデオ、スライド、カセット、コンパクトディスクのように、映像や音声を記録した資料で、この利用のためには再生用の機器を必要とします。

本学でも、附属図書館本館には視聴覚室と語学演習室（L.L.）が、また、医学部分館には視聴覚室があって、それぞれ資料や機器を備え、利用に供しています。

さて、本館の場合、視聴覚室やL.L.は1階の奥まった場所にあり、また、資料も原則として禁帯出としていたため、利用上不便な点がありました。

目 次

| | | | |
|----------------------|---|-------------------------|----|
| ビデオ資料の貸出について…………… | 1 | 電算化日録…………… | 13 |
| 大学と図書館……………漢那憲治…… | 4 | NACSIS-IRのマニュアルができました。… | 13 |
| 資料収集ニュース 原忠順琉球 | | <お知らせ> | |
| 関係コレクションについて…………… | 5 | ◎大型本コーナーの設置について…………… | 14 |
| 寄贈資料ニュース…………… | 6 | ◎トイレのタイル工事について…………… | 14 |
| 大学図書館職員長期 | | ◎図書の分類変更について…………… | 14 |
| 研修報告……………本郷清次郎…… | 7 | 図書館事情…………… | 15 |
| 第10回EDCセミナー報告…岡本淳子…… | 8 | 医学部分館コーナー…………… | 16 |
| 沖縄関係資料新着案内…………… | 9 | 編集後記…………… | 18 |

一方、最近ではV.T.Rの普及により、機器操作に関する必配もほとんどなくなりました。そこで、これらの状況から、今回ビデオ資料について貸出を実施することにしました。

2 どんな資料があるか

本館で所蔵している主なビデオ資料は、以下のとおりです。

VHS方式

- NHKシェークスピア劇場 全117巻
- 世界民族音楽大系 全30巻
- FAI人工知能の基礎知識 全26巻
- NHK中国語入門 全14巻
- NHK市民大学 沖縄の歴史と文化 全13巻
- NHKビデオ教材 高等学校理科 (物理) 全30巻
- 〃 〃 (化学) 全10巻
- ビデオ文学館 全10巻
- Japan Today 全10巻
- 教師教育テレビ教材 全7巻
- Your Video Passport 全4巻
- BBC名作シリーズ 全4巻
- 琉球大学放送公開講座 沖縄の農業 全13巻

β方式

- NHKドイツ語入門 全20巻
- Communication & Speech 全10巻
- En français 全7巻

これを見てもわかるように、種類、数量、内容等決して十分ではありません。また、大学図書館の性格上、収集の対象はどうしても学術的、教養的なものが中心となり、予算にも限度があります。今後は内容の検討も含めて、資料の充実に努めたいと考えています。

3 貸出と利用の方法

2階カウンター横にビデオ資料のケースが陳列してありますので、自由に選んでいただき、貸出希望の資料があれば当該のケースを取り出して、カウンターの係員に申し出てください。その際に、学生の場合には学生証をご提示ください。

次に、係員が事務室からビデオテープを持って来ますので、貸出票に所定の事項を記入のうえ提出してください。

貸出点数は1人3点まで、貸出期間は3日間となっています。

また、館内で利用したい場合は、VHS方式とUマチック方式については視聴覚室のモニターテレビで見ることができますので、カウンターで所定の手続きを取ってご利用ください。

4 今後のことなど

1) ビデオ以外の資料

本館では、ビデオ以外にも映画フィルム約40点、カセット約550点、スライド約1,760点を所蔵しています。

これらの資料の紹介については他の機会に譲りたいと思いますが、もしその内容や利用方法を知りたい場合は、カウンターにお問い合わせください。

2) 分館における利用

医学部分館では、現在ビデオ資料約180点、スライド約1,200点と若干の録音資料を所蔵しています。

これらは医学及び関連分野の学術資料で、2階視聴覚室内に収容され、頻繁に利用されています。

分館では、視聴覚資料の専門性や医師国家試験との関係等から、貸出の対象外とし、すべて視聴覚室内で利用してもらっています。

3) CD-ROM 資料のデモンストレーション

本館では、8月下旬かや9月中旬にかけて、約3週間、書店の協力を得てCD-ROM資料の検索デモを行いました。

今回検索の対象としたディスクは、「電子広辞苑」、「The Oxford English Dictionary」、「J-Bisc」(国内図書情報)等の6点でした。夏休みや前期期末試験と重なりましたが、それでも図書館職員以外にも何名かの教員や多数の学生が、実際に使っているのを見かけました。

CD-ROM資料は、俗に電子図書とも言われ、今回検索した以外にも既に相当数の資料が市販されており、今後ますますこれらの資料の整備、充実が不可欠になってきます。

4) 将来への展望

CD-ROM やレーザーディスク等の新しい記録媒体が、急速に普及しています。

パルプ資源の枯渇と相まって、いずれは図書館資料の中で主役の座を印刷資料に取って代わる時が来るかもしれません。

また、若者の活字離れや行動の個性化といった社会的な変化の中で、大学図書館も従来の古典的な手法だけでは、様々なニーズに対応しきれなくなりつつあります。

さて、本学でも図書館の増築問題がクローズアップされ、視聴覚関係をも含め、新しい時代の大学図書館にふさわしい機能と、施設、設備はいかにあるべきか検討を進めています。

今回の貸出措置は、図書館サービスの見直しの一つと言ってもよいでしょう。

(事務担当：情報サービス課閲覧係)
(内線 2142, 2145 カウンター-2144)

大学と図書館

漢 那 憲 治

「教育は、図書館のドアを開けるカギにほかならない。」 アンドレ・マルロー

大学教育にとって、図書館の役割はいかに大きなものであるかについて忘れられない多くの見聞がある。その中から幾つかを紹介してみたい。

1. アメリカに初めて行ったときのことである。大学の図書館に入ってすぐ目についたのがカード目録の並んだ場所であった。そこで、たくさんの人々—学生・院生・教師—が一生懸命に目録カードをめくって、忙しそうにメモを取っている。それがたいへん印象的であった。
アメリカから帰ってきて、琉大図書館に立ち寄ってみた。そこでカード目録の置かれたコーナーに目を向けると、ほとんど人がいないではないか。ただ一人だけ目録カードをめくっている。学生さんですかと聞いたら、図書館の職員ですと返ってきた。
2. もうひとつアメリカの大学図書館で印象的だったのは、図書館の開館時間が長いということである。あの当時、午前7時から翌日の午後2時まで開いていた。しかも日曜日も午後2時から午前2時まで開いているのにはびっくりした。
3. 最近、在学中に一年間の語学留学をする学生がキリスト教短大でも増えてきた。留学懇談会で帰って来た学生が異口同音に唱えることは、クラスの講義以外は殆ど図書館で過ごしたということである。その図書館も地域間の違いはあるものの、開館時間が長いということである。図書館から夜遅く帰る場合の安全のために、エスコート・サービスが用意されているとのことでもある。
4. 留学中に、京都大学法学部の学生がサンケイ・スカラシップで私の大学にやって来た。一年間の留学で何が一番良かったかと、帰国の際に尋ねたら、図書館の効果的な利用の仕方が分かったこととリサーチの方法を身につけることができたというのが、返事であった。
5. アメリカやイギリスの大学図書館は、単に調査研究や読書の場だけでなく、憩いの場でもあることが分ってびっくりした。図書館内にコーヒーを飲んだり、簡単な食事ができる場所があったり、疲れたら音楽などを聞いたりできる場所があるということである。
6. 復帰直後、シカゴ大学の大学院図書館で日本語資料課主任として働いていた頃、新しく採用された教師がいた。当時、本人は日本に滞在中であった。その方から手紙が届いた。その文面は、「私は9月から日本研究の科目を担当することになった。図書館にはその科目をカバーするような文献は揃っているか。もしなければ、新学期が始まるまでに揃えて欲しい。」というもので、しかも文献リストまで添えられていた。
7. シカゴ大学では講師も兼任していたので、一科目を教えなければならなかった。どういった科目を担当するかといえば、それは院生対象の日本研究に関する資料の案内といった「日本書誌学入門」である。これは日本研究の文献案内と文献探索方法を指導するコースである。学部でもこれと似たような図書館の利用と文献探索の仕方が、大抵の大学で教授されている。

8. 現在、主に3～4年次の学生を対象に「学校図書館経営論」という科目を担当している。講義初めに、図書館利用のことでアンケートを取ってみたら、殆どの学生が図書館の効果的な利用の仕方が分からないという。特に、二次資料や参考図書の使い方についてである。
9. 最近、世界各国の大学で講義についていけない学生が増えているという。「Improving University Teaching」というテーマで国際会議が5～6年前から開かれている。日本の学生も例外ではないということが一般教育学会で報告されている。大学の教師も、小・中・高の教師同様に教授法について考えなければならないということになってきた。教材研究のために図書館利用は学生よりも教師からと言えそうだ。

独創的・創造的な調査研究の前提には、大学を教育の場として捉える発想が必要ではなからうか。そうであれば、図書館に対する大学教師の意識も変ってこようし、かつ教授法の変革も容易になるであろう。そこから図書館のサービスもより改善され豊かなものになっていくのではなからうか。

(かな けんじ・教育学部非常勤講師・沖縄キリスト教短期大学教授)

◇◇資料収集ニュース◇◇

原忠順琉球関係コレクションについて

附属図書館では、昭和63年度沖縄関係文献資料保存事業で収集計画していた「原忠順琉球関係文書コレクション」を購入、受入れた。

原忠順は、肥前鹿島藩主鍋島直彬（在任：明治12-14年）から最も信頼された人物であり鹿島藩を維新方にさせた立役者といわれ、また琉球処分後の沖縄県の大書記官として、日常不在であった沖縄県初代県令鍋島の代理を勤め、沖縄県の実上の最高責任者であった。

これらの資料群のなかには、琉球処分をめぐる中央政府との確執を赤裸々に綴った書簡類、辞令書、行政文書等が入っており、初代県令時代の沖縄史の空白を埋める一級資料といえよう。

内容：

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 江戸上り行列 瓦版 1枚 | 8. 沖縄県各地方間切下知役・検者姓名簿 6丁 1冊 |
| 2. 原忠順メモ帳（宝永7年薩琉関係文書写し、本草関連）1冊 | 9. 評定所記録 写本1冊 |
| 3. 琉球人音楽見物控 1冊 | 10. 法制之部 写本1冊 |
| 4. 嘉数間切文書 1冊 修理済 | 11. 国頭役所詰員一同御賞賜之度候申出 4丁 |
| 5. 松田道之書簡 4冊 〃 琉球処分に関連して | 12. 久米島出張復命書 豊見城盛綱・渡辺簡 |
| 6. 琉球国事略 写本1冊 新井白石 原著 | 13. 給与表（明治13年6月判任現員調）1綴 |
| 7. 春寶弓張月 前後計12冊揃 嘉永4年後刷 曲亭馬琴 | 14. 予算牒進達二付上申書 警察費預算等内訳簿他・明治12年1綴 |

15. 衛生之儀ニ付開申、他（明13、法律案）
16. 沖縄県警察官リ歴書 3綴
17. 行政区画整備（案） 1綴
18. 沖縄の衛生に関する意見書 2枚（内田孝太郎他）
19. 県内情勢に関する伊藤博文宛報告書写（原忠順・鍋島直彬差出し）
20. 〃 伊藤博文からの公文書写し他3綴
21. 明治期琉球の生写真 7枚
22. 原忠順日記 明治5年～明治18年 8冊
23. 原應侯（原忠順伝記） 生原稿 製本済
24. 辞令書・免官辞令書・辞職願 等
25. 原忠順宛鍋島直彬長文書簡 1巻。琉球処分の内幕
26. 〃 書簡 24通。
27. 原忠順宛書簡類 110通余
28. 賛。原忠順漢詩文 4綴
29. 原忠順リ暦 他雑書類一括
30. 原忠順漢詩文色紙類一括
31. 原忠順書まくり類一括
32. 扁額4枚（李丹元、雪遠、風月亭 扇面画）
33. 宮古馬讓渡売買文書軸 1本
34. 原忠順書幅 2本
35. 原忠順漢詩幅 2本
36. 豊見城盛綱旧蔵。登川親雲上、玉城親雲上旧蔵書籍類一括
文選4冊、咏物詩選不揃3冊、詮釈排律序詩4冊、朱子摘編2冊
南豊文集1冊、上海九傘堂厚記仿古名残（王羲之）1冊、一家言釈義2冊、古文靖言4冊、左繡2冊、酬世錦薨6冊、資治新書7冊、古文析義2冊、
37. 余正元画集（写）析本 他。3冊
38. 原忠一関係書簡類一括
39. 原忠順死亡通知、他雑書類一括

☆☆寄贈資料ニュース☆☆

このたび早稲田大学図書館から、下記の新聞が寄贈されました。明治から大正にかけて発行された新聞で、現在ではなかなか入手しにくい資料です。現在整理中ですが、近日中に閲覧に供される予定です。

大阪朝日新聞

明治34年8～11月

- 〃 35年1～12月
- 〃 36年1～3, 5, 7～12月
- 〃 37年1～12月
- 〃 38年1～10月
- 〃 39年3～12月
- 〃 40年1～12月
- 〃 41年1～12月
- 〃 42年1～12月
- 〃 43年1～8, 10～12月
- 〃 44年1, 9, 10～12月
- 〃 45年2～6月

大正元年9～12月

- 〃 2年1～2, 5～7, 9～12月
- 〃 3年3, 5, 7～12月
- 〃 4年1～6, 9～12月
- 〃 5年2～12月
- 〃 6年1～12月
- 〃 7年1～12月
- 〃 8年1～12月
- 〃 9年1～12月
- 〃 10年1～12月
- 〃 11年1～12月
- 〃 12年1～3, 6～8月

大学図書館職員長期研修報告

本郷 清次郎

ご無沙汰を続けていますが、その後お変わりありませんか。

この夏は念願かなって大学図書館職員長期研修に行ってきました。

今年度の長期研修は筑波と東京で7月24日から8月11日までの3週間開催されました。筑波では第1週と第3週で主として図書館情報大学(U L I S)で講義などがあり、第2週の東京では学術情報センターでの講義と実習、それに図書館見学が主体でした。

参加者は女性8名を含む41名が、北は旭川医科大学から南は琉球大学までの全国から集まってきました。私が研究参加をさせた理由の一つは、募集要項におおむね40歳までを対象とする、と書かれてあったからなのですが、今年は比較的平均年齢が高かったようです。私でも平均よりちょっと上かなというぐらいでした。1947~51年生まれの団塊の世代はどこに行っても多数派になってしまうようです。

研修は、総論、学術情報の流通とネットワーク活動、資料の整備と相互協力、学術情報センターの活動と大学図書館業務のシステム化、二次情報データベースの形成と利用、情報検索サービス、関連講義等と共同研究討議、それに研修見学と九つの分野から構成されていました。今日の図書館界の関心を網羅しているようです。講義だけでなく実習や演習、それに体育も組込まれています。

初日、開講式のU L I Sの藤川学長の挨拶から講義が始まりました。前日の学生宿舎初夜の顔合わせの余韻さめやらぬ頭は驚いてすっかりあせってしまいました。日常業務に埋もれ、雑事に追われている日々にはほとんど忘れかけていた、図書館というものに対する根本的な問いかけをこの時から少しづつ思いだしてきました。

実際、この長期研修の最大の収穫はこの点だったと思います。7年前にひねた学生として同じこの場で授業を受けた後に職場に足を踏み入れて感じた諸々のことは、この間にすっかり意識の底に埋もれてしまっていたようでした。しかし、先生方の講義を聞き、話を交しているうちに、それが久し振りに意識の上に昇ってきました。忙しい日常業務の中ではなかなかそのような余裕を持っていませんから、このような場は本当に貴重です。

収穫の第二はやはり、理論面、実際面それぞれに図書館界の新しい動向を知ることが出来たことです。かねて余り本を読まない自分の生活態度に問題があるのですが、本で知ると専門家に実際に話を聞くのとではだいぶ違いがあります。

第三には日米大学図書館会議や在外研究などという、ほとんど縁のない世界のような出来事が、実際に参加した本人の話聞くことができ、少し身近に感じられるようになったということです。

他にも色々得るところが多かったのですが、その中で言い忘れてはならないことがあります。人との繋がりが広がったということです。日程の最後の共同討議で、他の大学でも当館と同様に電算化に関して色々苦勞している現状や、工夫をこらしていることなどの情報交換ができたことは一例です。更に夕食時やその後、近くの食堂や居酒屋、キャンパス内の屋外ベンチや談話室あるいは自室などで交流の和を上げたことは楽しい思い出となっています。このネットワークは今年HUMAN NET '89と名付けられました。これからの更なる交流は仕事の上でも大いに役立つものと思っていますし、楽しみでもあります。

今回はすっかりまじめな手紙になってしまいました。ところで、余談ですが、この手紙をパソコンに付随した学習能力のないワープロで単語変換で作成していると、時々、おもわずニヤッとするような単語が出現して、その絶妙さに苦笑いしてしまったりします。貴君はそのようなことはありませんか。

今回はこれで。近いうちにお会いしたいものです。それでは、また。

(ほんごう せいじろう・学術情報係長)

第10回 E D C セミナー報告

岡本 淳子

第10回 E D C (European Documentation Center = 欧州共同体資料センター) セミナーが、平成元年5月25日、26日神戸商科大学経済研究所において、17機関29名の参加を得て開催され、参加の機会がありましたので、会議の様態を簡単に報告します。

1日目の午前中は各館の活動報告のあと、駐日 E C 委員会情報サービス室長ミゲル・G・オロスコ氏による講演『ヨーロッパの未来—1992年ヨーロッパ市場統合の完成をめざして—』があった。物理的、技術的、財政的障壁の撤廃のスムーズな実現のための具体的方策やその進行状況、課題などについて概説された。引き続いて神戸商科大学の山宮不二人教授により『最近の欧州事情』と題して、留学時の雑感を交えながら、欧州の市井の人たちの間でヨーロッパ統合が現実にとどのように受けとめられているか、といった実情が紹介された。

午後は、中央大学の作成による『1992年 E C 関係雑誌記事索引』の紹介と、事前に各センターにより提出されていた協議事項、意見等の活発な交換が行われた。また、E C 資料以外の国際資料を含めて、電算入力について各館の実情が報告された。琉大では一般図書、雑誌とも全面的に N C (National Center = 学術情報センター) に登録し、ローカルシステムへもそのデータを取り込む方向で電算化を進めているので、国際資料もそれができればと思う。E C 資料は図書、雑誌とも L C (Library of Congress = 米国議会図書館) など外部 M A R C (Machine Readable Cataloging = 機械可読目録) ではほとんどヒットしないので、すべてオリジナル入力が必要となり、入力を開始している館もあるが(東大、名大等)、現在検討中の館が大半であった。北大、関西大など各館独自のオンライン検索システムに入力し、かなり効果を上げている館もある。

資料整理の方法について、国立国会図書館より、書名、機関名、ドキュメント記号など多種の目録の作成事例が報告され、目録類の整備が利用状況の改善に必要であることを実感した。

各館のレファレンス事例報告と、駐日 E C 委員会による代表的レファレンス事例について解説があり参考になった。また例年どおりレファレンスツールの紹介と E C 関係雑誌記事索引1988年追加分について中央大より紹介があった。

2日目は、神戸商科大学の平覚助教授による講演『E C における G A T T の法的地位』ではじまった。G A T T 問題の所在、E C と G A T T の関係—国際法的考察、E C における G A T T の法的地位—G A T T の直接適用可能性といったテーマで進められ、判決の具体例もまじえてわかりやすく解説された。

従来都市圏に顕著だった E C 資料の利用が近年は地方都市においても活発になってきていることをセミナーに出席して感じた。例えば東京地区で行なわれている E C 研究会が、九州地区でも西南学院大学を中心に九州 E C 研究会の発足をみている。

琉大図書館では学内の強い要望により、E C 資料、UN (国連) 資料、OECD 資料、UNESCO 資料等国際資料の整備充実を図っているところであるが今後、資料数の増加、整備に伴って利用状況もいっそう活発になることを期待したい。

(おかもと じゅんこ・参考調査係)

沖縄関係資料新着案内

0類 総記

1. 史料編集室紀要 第14号 沖縄県立図書館
1989

1類 哲学

2. 生命の光道—幸福への招待— (知花敏彦)
エイト社 1989

2類 歴史

3. 群雄割拠の島 (長田亮一) 自費出版
1989
4. 平良市史 第8巻 資料編6 考古・人
物・補遺 1989
5. 石垣市史 資料編 近代3 マラリア資料
集成 1989
6. じまむら (宮城幸吉) 自費出版 1989
7. 回想録 (重武克彦) 海風社 1989
8. 新版 観光コースでない沖縄 (新崎盛暉
他) 高文研 1989
9. 古琉球三山由来記集 (東江長太郎) 那覇
出版 1989
10. 沖縄、宮古島の或旧家に残された古文書の
解説とその考察 (奥平繁夫) 自費出版
1987
11. 琉中歴史関係論文集 (第2回琉中歴史関係
国際学術会議実行委員会編) 1989
12. 龍郷町誌 歴史編 (鹿児島県大島郡龍郷町
編) 1988 民俗編 1988
13. 新版 琉球の時代—大いなる歴史像を求め
て— (高良倉吉) ひるぎ社 1989
14. 琉球国評定所文書 (同編集委員会編) 第2
巻 浦添市教育委員会 1989
15. 佐敷町史 三 自然、別冊 佐敷町役場
1989 2分冊

16. せあらとみ 第3号 せあらとみ同人
1989

17. 昭和史のなかの沖縄 (大城将保) 岩波書
店 1989 岩波ブックレット

18. 天皇・天皇制・百姓・沖縄 (安良城盛昭)
吉川弘文館 1989

19. 浦添市史 第1巻 通史編 (浦添市教育委
員会編) 1989

20. 与論町誌 (与論町教育委員会) 1988

21. History of the Okinawans in North America
(Compiled by The Okinawa Club of Amer-
ica) UCLA Asian American Studies Center,
1988.

3類 社会科学

22. 奄美・笠利町昔話集—鹿児島県大島郡笠利
町— (立命館大学説話文学研究会編) 立
命館大学文学部 1989

23. 増補 地域からの国際交流 (島袋邦・比嘉
良充) 研文出版 1989

24. 知名町地名考—沖永良部島南西の名勝史話
— (先間政明) 八重岳書房 1989

25. 池水ツル姫昔話集—奄美民話集3— (本田
碩孝編) 郷土文化研究会 1988

26. いま沖縄戦を考える (丸木政臣) 岩崎書
店 1985

27. いのちは海からの贈り物 (知念隆一) 日
本館書房 1988

28. 歌謡 (うた) の民俗—奄美の歌掛け— (小
川学夫) 雄山閣 1989

29. 軌跡—地方記者の十年— (謝花勝一)
自費出版 1989

30. 国語教育と短歌の指導 (平山良明) 六法
出版社 1989

31. コザの音楽家 (関広延) 海風社 1989
32. 九州・沖縄地方の住い習俗 明玄書房 1984
33. 九州・沖縄地方の火の民俗 明玄書房 1985
34. 九州・沖縄地方の石の民俗 明玄書房 1987
35. 九州・沖縄地方の水と木の民俗 明玄書房 1986
36. 南からの風 (橋口譲二) スイッチコーポレーション書籍出版部 1988
37. 名護の民話 (名護市史編さん室編) 名護市教育委員会 1989
38. 人間と文化 (宜保好彦) 自費出版 1989
39. 日本伝説大系 (山下欣一、遠藤庄治、福田晃) みすず書房 1989
40. 沖永良部島のユタ (先田光演) 海風社 1989
41. おきなわ感懐録 (佐々木信行) ひるぎ社 1989
42. 沖縄の冠婚葬祭 那覇出版 1989
43. 沖縄民俗薬用動植物誌 (前田光康・野瀬弘美編) ニライ社 1989
44. 沖縄の事件史100のナゾ (比嘉朝進) 風土記社 1989
45. 沖縄の年中行事 (崎原恒新) 沖縄出版 1989
46. 沖縄の集落景観 (坂本盤雄) 九州大学出版会 1989
47. 沖縄の御願^{ウツラン}の知識と実例 (住友方美) 月刊沖縄社 1989
48. 戦後沖縄の社会変動と家族問題 (新崎盛暉・大橋薫編著) アテネ書房 1989
49. 戦火の中の受刑者たち (渡嘉敷唯正) 関文社 1988
50. 写真集 ふるさとの祭 (金城盛正) 西部カラーフォート 1989
51. 新商法への対応 (山城将美) 琉球新報社 1989
52. 白地も赤く百円ライター (下嶋哲郎) 社会評論社 1989
53. 障害児の理解と指導 (中村哲雄) 自費出版 1989
54. 総合研究奄美伝統文化の変容過程 (高橋統一編) 国書刊行会 1989
55. 辻の華 (上原栄子) 戦後編 上、下 時事通信社 1989
56. 吉永イクマツ姫昔話集—奄美民話集2— (本田碩孝編著) 郷土文化研究会 1984
57. Military Government in the Ryukyu Islands, 1945 - 1950 (Arnold G. Fisch, Jr.) Center of Military History, 1988.
- 4類 自然科学
58. 断層地帯—沖縄療友会小史— (山城永盛編著) 上、下 社会福祉法人沖縄県厚生事業会 1986
59. フィールド図鑑 造礁サンゴ (解説・写真 西平守孝) 東海大学出版 1988
60. 南の島の昆虫記 <トンボ編> (成見和絵) 評価問題研究所 1979
61. 日本植生誌—沖縄・小笠原— (宮脇昭編著) 至文堂 1989
62. ニライ・カナイの島じま (池原貞雄・加藤祐三編著) 築地書館 1988
63. 沖縄海中生物図鑑 (内田絃臣・福田照雄) 第10巻 新星図書 1989
64. 沖縄の気象 (山崎道夫・仲吉良功・大城繁三) 日本気象協会沖縄支部 1989
- 5類 工学
65. 那覇の空間構造—沖縄らしさを求めて—

(吉川博也) 沖縄タイムス社 1989

66. 沖縄の鍛冶屋(福地曠昭) 海風社 1989
 67. 戦後の沖縄たばこの歴史(羽田武文) たばこ産業弘済会文化事業部 1989

6類 産 業

68. めざめよ沖縄の農業(大城喜信) 沖縄農林漁業技術開発協会 1989
 69. 熱帯の果実(小島裕) 新星図書 1989
 70. 沖縄の豚と山羊(鳥袋正敏) ひるぎ社 1989
 71. 新石垣空港—オールタナティブの選択(杉岡碩夫) 技術と人間社 1989

7類 芸 術

72. 熱き拳—ボクシングと共に—(仲本盛次) 月刊沖縄社 1988
 73. 日本民謡大観 八重山諸島篇(日本放送協会編) 1989
 74. 沖縄芸能史研究会報 1号~149号 沖縄芸能史研究会 1989 2分冊
 75. 沖縄芝居五〇年(真喜志康忠) 新報出版 1983
 76. 沖縄スポーツ人国記(玉城忠) 琉球新報社 1989
 77. 沖縄野外活動図鑑(平良勉他) むぎ社 1989
 78. 大城志津子作品集—沖縄織物の至宝—(大城志津子) 用美社 1989
 79. 写真集 沖縄の彩(平井順光) 第2巻 コミック・オキナワ社 1988
 80. 新板画風土記—沖縄(儀間比呂志) 海風社 1989
 81. 屋良朝栄写真集 天使たちの詩(屋良朝栄) 南島社 1988

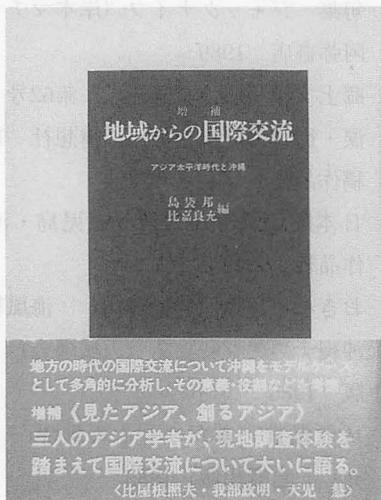
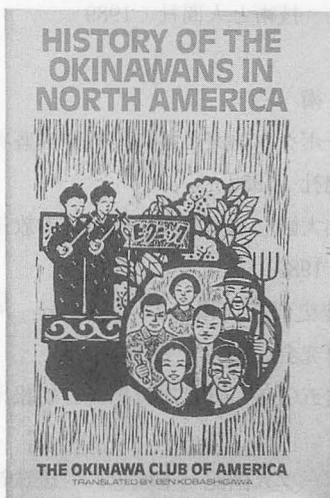
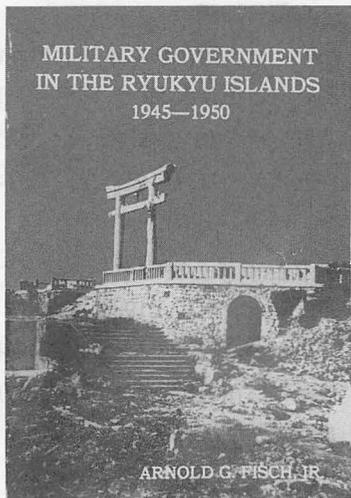
8類 言語学

82. 沖縄おもしろ方言事典(沖縄雑学倶楽部編) 創光出版 1989

9類 文 学

83. 阿檀(あだん)(沖縄エッセイストクラブ編) ひるぎ社 1989
 84. 父は沖縄戦で死んだ(太田英雄) 高文研 1989
 85. 逆光の画家田中一村(比嘉加津夫) 南島社(発売) 1989
 86. 八月二十二日の太陽(下嶋哲朗) フレーベル館 1986
 87. 小説 引き裂かれた家族・ある沖縄人の庶民史(石田甚太郎) 創樹社 1988
 88. 遺書を持つ女(津野創一) 双葉社 1989
 89. 十五夜之一日(伊波信光) 日本随筆家協会 1989
 90. 帰れぬ者達—沖縄戦に果てて—(満山凱丈) 自費出版 1988
 91. 鏡の中の海(照屋全房) 海風社 1989
 92. 仮眠室(田場美津子) 福武書店 1989
 93. 勝連敏男詩集(勝連敏男) 脈発行所 1989
 94. 句集 ジャックナイフ(岸本マチ子) 本阿弥書店 1989
 95. 郷土文学(郷土文学社) 第62号 1989
 96. 涙・街(阿波根宏夫) 構想社 1980 遺稿作品集
 97. 日本随筆紀行—宮崎・鹿児島・沖縄編—作品社 1988
 98. おきなわ評論(関根賢司) 海風社 1989
 99. 沖縄テニアン戦物語(大城輝吉) 自費出版 1988
 100. 琉歌鑑賞—遊女ゆしやの世界—(宮里政充) 自費出版 1989

- 101. 琉球弧の喚起力と南島論 (吉本隆明) 河出書房新社 1989
- 102. 信の構造 (吉本隆明) 3 全天皇制・宗教論集成 春秋社 1989
- 103. 新沖縄文学 (沖縄タイムス社) 第79号 1989
- 104. 白旗の少女 (比嘉富子) 講談社 1989
- 105. 詩集 ム所の天皇 (芝憲子) 青磁社 1989
- 106. 詩集 ラグーン (中里友豪) E K E企画 1989
- 107. 詩集 シドニーにて (宮城秀一) G Mカンパニー 1988
- 108. 詩集 サファイヤブルーの海—矢野克子詩集 (沖縄編)— 講談社 1989
- 109. 詩集 屋根の上のシーサー (比嘉辰夫) 西田書店 1989
- 110. 幻想の古代 (古橋信孝) 新典地 1989
- 111. 神女 (かみんちゅ) (森禮子) 講談社 1989



電 算 化 日 録

(1989年6月～1989年8月)

- 6月5日(月) 情報処理センターとの打合わせ (OPAC端末、URISONについて)
- 7日(火) 運用連絡班会議 (第5回)
- 13日(火) ILIS (LEVEL30) 説明会、富士通・情報処理センターとの打合わせ
(LEVEL30導入スケジュールについて)
- 21日(水) 運用連絡班会議 (第6回)
- 23日(金) 図書館業務電算化委員会 (第2回)
- 27日(火) 富士通・情報処理センターとの打合わせ (LEVEL30導入について)
- 7月5日(水) 運用連絡班会議 (第7回)
- 18日(火) 富士通・情報処理センターとの打合わせ (LEVEL30導入について)
- 19日(水) 運用連絡班会議 (第8回)
- 21日(金) 富士通との打合わせ (LEVEL30導入について)

NACSIS-IRのマニュアルができました

—— オンライン情報検索サービスのご案内 ——

学術情報センターのNACSIS-IRの利用申請はもうお済みですか(びぶりお Vol.21.No.2;1988.6.20 参照) 使い勝手はいかがですか。個別のデータベースのマニュアルが届きましたのでその一覧を掲載しておきます。学術情報係にありますので利用なさりたい方は係までご連絡下さい。また利用者でマニュアルを個人的にほしい場合には、直接、学術情報センターの共同利用係まで申し込んで下さい。

1. COMPENDEX, Ei ENGINEERING MEETINGS 工学文献抄録データベース 利用者マニュアル 1987.11
2. LIFE SCIENCES COLLECTON データベース 利用者マニュアル 1987.11
3. NACSIS-IR 利用者マニュアル ISTEP&B データベース 1989.3
4. NACSIS-IR 利用者マニュアル SciSearch, Social SciSearch, A&H Search データベース 1989.3
5. NACSIS-IR 利用者マニュアル Harvard Business Review データベース 1989.3
6. NACSIS-IR 利用者マニュアル EMBASE データベース 1989.3
7. NACSIS-IR 利用者マニュアル MathSci データベース 1989.3
8. NACSIS-IR 利用者マニュアル JPMARC, LCMARC データベース 1989.3
9. NACSIS-IR 利用者マニュアル データベースディレクトリ 1989.3
10. NACSIS-IR 利用者マニュアル 学会発表データベース 1989.3
11. NACSIS-IR 利用者マニュアル 学位論文索引データベース 1989.3
12. NACSIS-IR 利用者マニュアル 科学研究費補助金研究成果概要データベース 1989.3
13. NACSIS-IR 利用者マニュアル 目録所在情報データベース (雑誌) 1989.3
14. NACSIS-IR 利用者マニュアル 目録所在情報データベース (図書) 1989.3



◎大型本コーナーの設置について

本館ではこのたび3階ロビーに大型本コーナーを新設しました。

これまで書庫に収容されていた美術書のうち、出版が新しく内容のあるものを中心に約300点を選書し、専用書架に配架したものです。芸術の秋にふさわしいニュースですが、高額な資料も多いので、丁寧に利用されることを願っています。

◎トイレのタイル工事について

本館では、9月29日（金）から10月25日（水）までの秋季休業期間に、トイレのタイル工事を実施します。この間は男子は2階トイレのみ、また女子は1階トイレのみの使用となります。

大変ご迷惑をかけますが、土曜日曜なしの突貫工事で工期を短縮していますので、ご協力ください。なお、最初の4～5日は騒音が発生しますので、ご了承ください。

◎図書の分類変更について

図書館資料の分類法を従来のNDC（日本十進分類法）新訂6-A版からNDC8版に変更しました。

分類法の変更は学問の進歩を反映し、新しい学問分野を分類体系の中に組み入れたものです。

NDC8版を採用することによって、学術情報センター目録データベースを利用し、資料の分類が効率的に行うことができ、利用者に資料を早く提供できるようになります。

今後、新しく書架に並ぶ資料はNDC8版によります。書架上に表示をしますが、特に下記主題の資料は、NDC新訂6-A版とNDC8版で分類番号が大きく変わりますので、新しい資料は→（矢印）のところもご覧下さい。

| | 6-A版 | 8版 | 備 考 |
|-----|--------------|--------|----------------------------|
| 363 | 社会思想・社会主義 | →309 | 6 A版(309空番) 8版(363空番) |
| 348 | 官業 | →335.7 | 6 A版(335.7公企業) 8版(348専売) |
| 535 | 情報工学(ハードウェア) | →548 | 6 A版(548無線工学) 8版(535精密機械) |
| 677 | 倉庫業 | →688 | 6 A版(688観光事業) 8版(677空番) |
| 716 | 象牙彫・角彫 | →755.4 | 6 A版(755.4牙角細工) 8版(716空番) |
| 819 | アイヌ語 | →829.2 | 6 A版(829.2チベット語) 8版(819空番) |

| | | |
|----------------------------------|---------|-----------------------------------|
| 401 情報科学 (ソフトウェア及びシステムに関するもの) | →007 | 6 A (007空番) 8版 (401科学理論) |
| 海洋 | →299 | 6 A版(299漂流記) |
| 679 会計・簿記 | →336.9 | 6 A版(336.9経済恐慌) 8版(679空番) |
| 144→(361.5) 集団心理 | →361.44 | 6 A版(361.44空番) 8版(144空番) |
| 164→(385.1) 民間信仰 | →387 | 6 A版(387礼儀作法) 8版(164神話) (385.1空番) |
| 346 関税 | →678.3 | 6 A版(678.3貿易関税) 8版(346空番) |

図書館事情

〔第179回図書館運営委員会〕

日 時：平成元年5月18日(木)

場 所：図書館会議室

議 題：1. 共通図書費に係る図書の整備充実について(回答) 2. 琉球大学附属図書館沖縄研究資料調査収集小委員会委員の再任について 3. その他

報告事項：1. 湧川清栄先生蔵書受入について

2. 第19回九州地区国立大学図書館協議会第40回九州地区大学図書館協議会総会 3. その他

〔第180回図書館運営委員会〕

日 時：平成元年6月19日(月)

場 所：図書館会議室

議 題：1. 附属図書館増築と平面計画について 2. 附属図書館蔵書の質的充実について 3. その他

報告事項：1. 附属図書館事務部課長会議 2. 放送大学地区学習センター 3. 学生・大学院生用図書の選択について 4. 書庫害虫駆除処理について 5. 医学部分館運営委員会について 6. 沖縄国際センター研修生の研修見学 7. その他

〔出張〕

平成元年6月29日(木)～30日(金)館長 安富祖忠信、事務部長 松浦正、情報管理課長 橋本健一

第36回国立大学図書館協議会総会出席、弘前市

平成元年7月3日(月)～21日(金)整理係長 金城照子

平成元年度漢籍整理長期研修(前半)、東京

平成元年7月13日(木)～14日(金)学術情報係 榮野川敦

DIALOG情報検索システム福岡オンライン研修、福岡
平成元年7月24日(月)～8月11日(金)学術情報係長 本郷清次郎
平成元年度大学図書館職員長期研修、筑波、東京
平成元年8月18日(金)分館長 草場昭、専門員 新井裕丈、分館整理係長 豊平朝美
第37回九州地区医学図書館協議会総会出席、久留米市
平成元年8月30日(水)～9月1日(金)参考調査係 山里道子
平成元年度図書館等職員著作権実務講習会出席、大阪
〔その他〕
平成元年6月1日(木)～2日(金)情報管理課長 橋本健一
防火管理者資格取得講習会参加、東風平町
平成元年6月12日(月)～23日(金)総務係長 大城弘安
第14回沖縄地区係長研修、人事院沖縄事務所
平成元年6月16日(金) 沖縄県大学図書館協議会総会及び講演会
講演者：西原森茂沖縄国際大学図書館長
演 題：政治と象徴
会 場：沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館
平成元年6月26日(月)分館閲覧係 新垣美津子、参考調査係 岡本淳子、分館整理係 城田由二
図書館職員研修講座出席、那覇市

医学部分館コーナー

〔第24回運営委員会〕

日時：平成元年6月20日(水) 16.00～16.40

場 所：医学部分館 会談室

議 題：1. 医学科大学院設置に伴う平成2年度購入コアジャーナルの選定について

報告事項：1. 医学科・保健学科新入生のオリエンテーションについて 2. 医学研究科及び保健学研究科院生の図書館利用・情報検索のオリエンテーションについて 3. 平成2年度講座購入学術雑誌の新規購読および購読中止希望について 4. 平成元年度図書館備付学部学生用・院生用図書
の選択について 5. 平成元年度医学部購入雑誌費について 6. その他

〔オリエンテーション〕

平成元年5月31日(水) 13.40～15.00

図書館利用及文献検索について 対象 医学部事務職員及び分館職員 3人

〔寄贈図書〕

仲宗根栄氏 「西表島のマラリア撲滅史」 (那根武著) 1979 他14冊

〔新着図書案内〕

免疫学

1. マウス免疫遺伝学 (森脇和郎・Donald W. Bailey 編) ソフトサイエンス社 1988 分類：QW541

医業

2. 死はタブーか (大田典礼) 人間の科学社 1982 分類：W50
3. 医療・医学研究における倫理の諸問題 (岡本直正他編) 東京医学社 1988 分類：W50

公衆衛生

4. 近未来の人間科学事典 (田中正敏・菊池安行編) 朝倉書店 1988 分類：WA13
免疫疾患・過敏症・膠原病
5. エイズとの闘い (米国科学アカデミー・米国医学学士院編 西岡久壽彌他監訳) 同文書院 1988 分類：WB308
6. 子供の食物性アレルギー (館野幸司・岸菊子) 女子栄養大学出版部 1988 分類：WD310

筋・骨格系

7. 痛風治療のこつ (中村徹) 南江堂 1988 分類：WE350

呼吸器系

8. The Lung—肺機能検査と臨床生理 (R.E. Forster, II 他著 瀧島任監訳) 南江堂 1989 分類：WF600

心臓血管系

9. 心臓・血管の救急 (木全心一編者) 永井書店 1988 分類：WG205

血液およびリンパ系

10. 止血・血栓ハンドブック (Jack E. Ansell 著 藤巻道男監訳) メディカル・サイエンス・インターナショナル 1988 分類：WH310

泌尿器生殖器系

11. ESWLによる尿路結石治療の実際 (真下節天編著) 南江堂 1988 分類：WJ356
12. 腎細胞癌治療の実際 (町田豊平・園田孝夫編) 医薬ジャーナル社 1988 分類：WJ358
13. 透析生活マニュアル (信楽園病院腎センター編著) 日本メディカルセンター 1988 分類：WJ378

内分泌系

14. 糖尿病・その素因のある患者への投薬 (清水直容監修) ミクス 1988 分類：WK815
(Drug Therapy コンパクトシリーズ6)

老年医学・慢性疾患

15. 老年病のすべて (能原雄一) 創元社 1988 分類：WT100
16. 医師の寿命診断 (菱沼従尹) FMPセンター 1988 分類：WT104

歯科学・口腔外科学

17. 歯科材料科学事典 (山根正次監修) 学建書院 1987 分類：WU190

18. 小児歯科学 (菊池進他著) クインテッセンス出版 1988 分類: W U480

耳鼻咽喉科学

19. めまい・平衡障害の診断と治療 (水越鉄理) 現代医療社 1988 分類: W V255

病院

20. 臨床研修病院ガイドブック '87 (臨床研修研究会編) 日本医事新報社 1988 分類: W X203

看護

21. 私を支えた看護観—看護実践より (日本総合研究所 医療看護グループ) 日総研出版 1988 分類: W Y86

〔ビデオテープ利用案内〕

生涯教育シリーズ; No 1 ~ No 7 番号164~183

1. エイズ情報他 48分 1987
2. 第22回日本医学会総会特集 48分 1987
3. B型肝炎他 48分 1987
4. エイズ研究会他 48分 1988
5. 肺がんの早期診断と最新治療他 48分 1988
6. B型慢性肝炎・新しい治療法他 48分 1988
7. 糖尿病—血糖の見返り検査法他 48分 1988

〔来館者〕

平成元年 4月18日(火) 与那原恵氏 (南風原文庫寄贈者南風原朝保氏令孫)

平成元年 7月7日(金) 仲里幸子那覇看護学校長他 6人

◎編集後記

夏休みが終って、久し振りに図書館に来られた方は気づかれたでしょうか。

正面階段両脇の花壇に草花が植えられています。琉球諸島の海岸砂地に自生する多年生草本で、大きく科のハマグルマと言ひ、黄色の可憐な花を咲かせているのを学内でも良く見かけます。結構丈夫なようですが、雑草と間違えて吸い殻など捨てないようにお願いしておきます。

また、古くなった蛍光管350本を全て取り換えました。少しでも明るい図書館になることを願っています。

琉球大学附属図書館報 “びぶりお” 第22巻 第3号 [通巻第84号]

平成元年 9月25日 発行

発行 琉球大学附属図書館 沖縄県中頭郡西原町千原1番地

電話 (09889) 5-2221 内線 (2143) 編集 びぶりお編集委員会